

トルコギキョウ管理の徹底で安定出荷へ



トルコギキョウの現地検討会を2月25日、野中大嗣さんと本山達也さんの圃場で行い生育状況を観察し、これからの栽培の課題と対策について情報交換しました。トルコギキョウ専門委員長の本山さんは「猛暑の時期も乗り越え、品質は良好。気温の急な変化に気を付けながら安定出荷につなげたい」と話しました。これからは気温が上昇し、花咲くスピードが上がる時期となります。換気等のこまめな管理作業を徹底し、病気にならないようしっかり指導していきたいと思います。トルコギキョウ生産者20戸。出荷は6月まで続きます。



生育をしっかりと観察する部会員



カスミソウの安定出荷に向け品種検討

カスミソウ品種検討会を3月12日、JA北宮農センターで開き生産者19人の参加がありました。種苗会社2社より新品種試験栽培の結果報告を聞き、東和徳さんと

赤星光範さんの試験圃場で現地検討会も行いました。品種の特性や花の大きさを確認し、令和7年産の栽培に向け意見交換しました。野中三裕部会長は「近年気候変動が激しく、栽培リスクが高くなっている。良質なカスミソウの安定出荷を目指し、部会一丸となって頑張りたい」と話しました。昨年は温かさの影響で開花が進み、計画から大きくずれ大変苦慮しました。課題が改善できるよう、慎重に品種検討を行っていききたいと思います。



試験圃場で意見交換する部会員

アスパラガス出荷査定会

営農部園芸課 後藤真智

栽培管理の徹底で秀品率、反収アップを目指す！

春芽アスパラガス出荷査定会を3月13日、七城集荷場で開きました。県内取引市場2社も加わり、細かな出荷規格などを確認。試食宣伝会や県内出荷に力を入れ、市場との情報交流を密にして有利販売につなげていきます。1本が55g以上の春芽だけの「特大アスパラガス」を目玉にしながら、細物もレシピ提案を行って売り込んでいきます。山田浩晶部会長は「3月上旬に出荷が始まったが冷え込みが続き、例年より2週間ほど遅れた。天候不順には悩まされるが、基本的な栽培管理の徹底で高品質確保と出荷規格を徹底し、菊池アスパラをアピールしていきたい」と話しています。定期的な栽培講習会を開き、秀品率、反収アップを目指します。

※病虫害対策では、登録農薬一覧表を配布し、発生状況に合わせた薬剤選定を行い、安全・安心なアスパラガス栽培に取り組めます。



出荷規格を確認する生産者にポイントを伝える